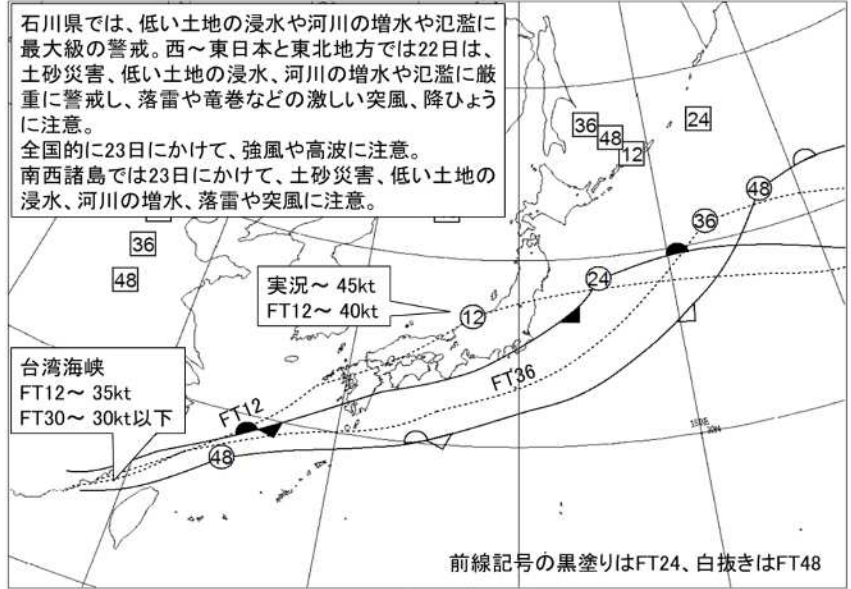


訂正箇所：4項 防災関連事項[量的予報等]の北陸の雨量を150mmに修正。

1. 実況上の着目点

① 前線が東シナ海から西日本日本海側を通り、日本のはるか東にのびている。また、前線上の対馬海峡付近には低気圧があって、東進。低気圧や前線に向かって、太平洋高気圧の縁辺からの下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となっている。低気圧や前線の近傍の九州北部地方では、雷を伴った1時間50mm以上の非常に激しい雨を解析。前線近傍の石川県能登北部には大雨特別警報(浸水害)を発表中。低気圧の近傍では、気圧の傾きが大きく、非常に強い風が吹いて、うねりを伴い波が高く、しけとなっている所がある。

② 台湾付近には、熱帯低気圧があって北西進。南西諸島では、熱帯低気圧と①の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、やや強い風が吹いて、波が高くしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の低気圧は、発達しながら日本海を東進し、22日夜には日本の東まで進む。低気圧からのびる前線は、西～東日本の太平洋側まで南下し、23日にかけて南西諸島付近に停滞する。低気圧や前線に向かって、太平洋高気圧の縁辺を回る下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。石川県の能登北部では、22日昼前にかけて低い土地の浸水や河川の増水や氾濫に最大級の警戒。西～東日本と東北地方では22日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。また、低気圧や前線の周辺では、気圧の傾きが大きくなり、非常に強い風が吹き、うねりを伴い波が高く、しけとなる所がある。西～北日本では23日にかけて、強風やうねりを伴った高波に注意。

② 1項②の熱帯低気圧は22日夜には不明瞭となる。2項①の前線は23日にかけて南西諸島付近に停滞し、前線に向かって流入する下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる所がある。また、前線と1項①の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、うねりを伴い波が高くなりしけとなる所がある。南西諸島では23日にかけて、強風やうねりを伴った高波、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ①雨量(06時からの24時間)：近畿・四国200、九州南部180、北陸・東海・九州北部150、東北・関東甲信120mm。②波浪(明日まで)：九州北部5、北海道・東北・関東・伊豆諸島・東海・北陸・近畿・中国・沖縄4、四国・九州南部3m。③高潮(明日まで)：大潮の時期。北陸地方と近畿地方では、警報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般情報」を5時頃に発表予定。